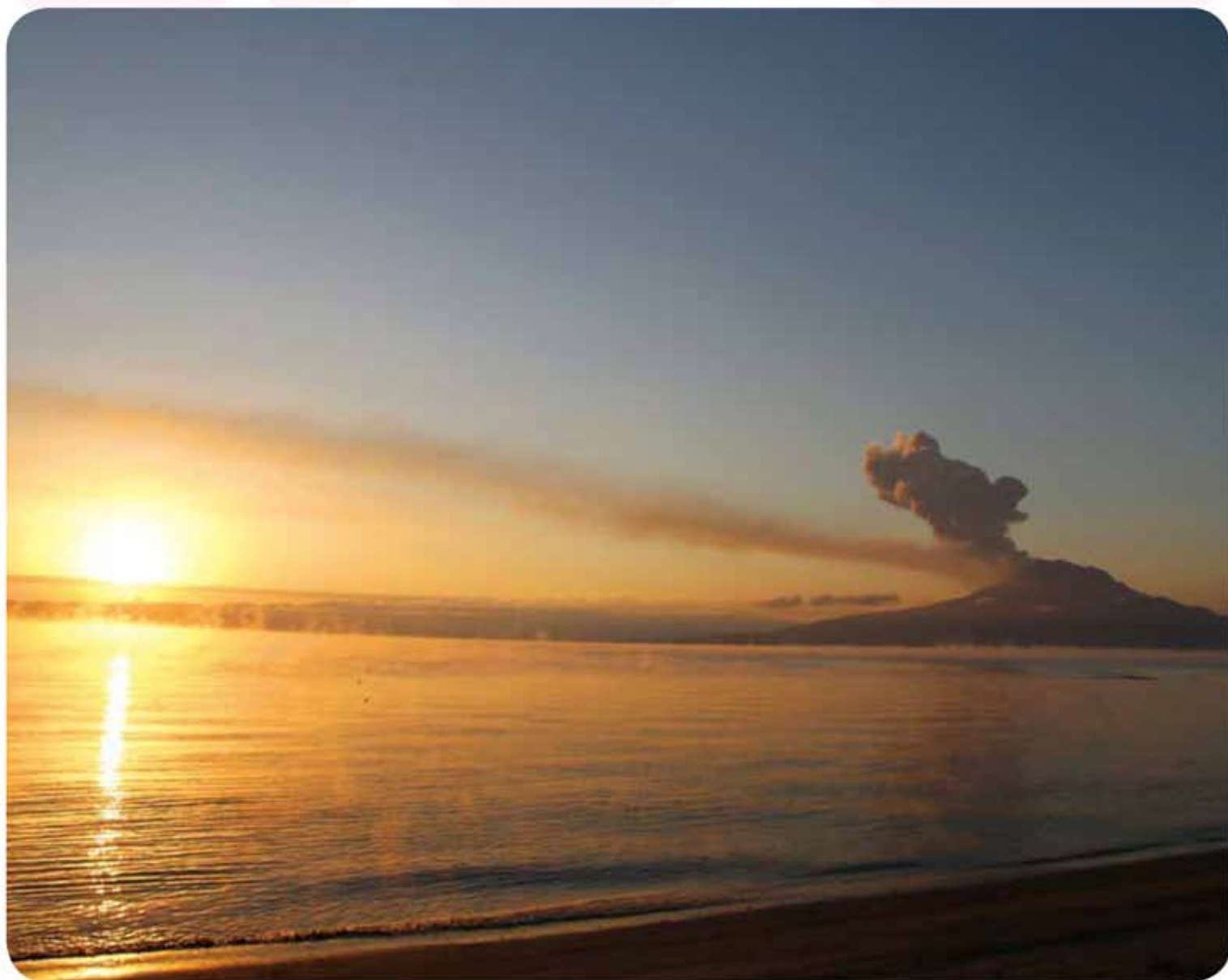


2012
VOL.44
1月16日発行

1

始良

市報あいら



始良市の個性を際立たす「選択」と「集中」

明けましておめでとうございます。市民の皆さまには、夢と希望に満ちた平成24年の新春を健やかに迎えたいとお慶びを申し上げます。また、昨年中は、市政各般にわたり深いご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、昨年を顧みますと、内閣の再編・交代や円高による雇用情勢の不安定化、ギリシャの財政危機に端を発する世界的景気後退の影響が続く、政治・経済は依然として混沌しました。また、戦後最悪の被害をもたらした東日本大震災をはじめ、国内各地で発生した自然災害、加えて福島第一原子力発電所の事故も、大変深刻な状況にあります。

このような中であって、女子サッカーのワールドカップドイツ大会における、日本女子代表チーム・なでしこジャパンの初優勝は、沈みがちだった日本国民に、力と夢と勇気を与える大変うれしい出来事でした。

また、九州新幹線鹿児島ルート全線開業は、近畿圏及び首都圏との陸路による距離を一挙に短縮し、新たな交流人口の増加につながっています。

ところで始良市は、今年3年目を迎えることとなります。

始良市のまちづくりの基本理念は、「県央の良さを活かした、県内一くらしやすいまちづくり」です。市民の皆さまが誇りを持って、安全で安心して暮らしていただけのように、地域特性を踏まえたさまざまな施策を、積極的に展開してまいります。

年が改まり、改めて感じることですが、始良市となって、まちの「気」の流れに勢いを感じております。合併効果の一つだとも考えていますが、いろいろな行すべき事業の中で、どの事業を重点的に、始良市の個性を際立たせていくか、私の仕事は「選択と集中」だと考えています。

今年、辰年です。猛虎昇龍のごとき隆盛の年にしたいと考えておりますので、市民の皆さまには、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますと共に、皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。新春のごあいさつといたします。

明けましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、健やかな新春を迎えられたことと存じ、お慶び申し上げます。

さて、リーマンショックから始まる世界の同時不況は、先進国といわれる全ての国を直撃し、EUにおける混乱ぶりは目を覆うばかりであります。

我が国においても例外ではなく、企業の倒産や若者に限らない就職難など不況の風は一向に収まらず、年金や医療、消費税の改定等も検討されております。加えて東日本大震災による原発事故の処理は遅々として進まず、現下の日本の政治・社会状況を反映しているようであり、ます。

一方、厳しい環境にありながら復興に取り組みむ東日本の人々と、それを支える全国からの励ましの様子は人間の持つ力強さ、たくましさと優しさ、いたわりの心が「絆」の漢字にも表されており、感激させられました。

日本全体がこの様に混沌としている時こそ、住民の生活に身近な地方自治体の力量が問われるといっても過言ではありません。

合併から2年近く過ぎた始良市もその

効果が徐々に表れており、道路整備や学校建設、医療費補助等の子育て支援策、市民相談の拡充、さらには企業の進出も順調に進んでおります。これらは旧町ごとに各々に行っていた施策が一体化されることによる、合併という最大の行政改革の成果であるといえます。そして、行政範囲が拡大し専門化されたことにより、議会としても質・量ともに濃密な審議や政策論議を行っております。

昨年、策定した総合計画では、平成30年に8万人の都市を建設することを掲げました。しかし、少子化社会の中で財源問題をはじめ、多くの課題も抱えております。住民のニーズは多岐にわたり多様化している中、住民福祉の「とりで」である地方経営は立ち止まっている事を許しません。

市民の皆さまの声を着実に吸い上げ、地方自治体の競争の時代において、西の鹿児島市、東の霧島市に負けない「県内一くらしやすいまち」を目指して議員一同、頑張っております。

この一年の皆さまのご多幸をお祈りし、新年のごあいさつといたします。

議会権能をさらに発揮し、住民ニーズを市政に



議長
兼田勝久
Kaneda Katsuhisa



市長
笹山義弘
Sasayama Yoshihiro

2012 辰年の決意
新年のごあいさつ



立山 芳輝 (たちやま よしてる)

NPO法人「くすの木自然館」理事長

始良市NPO法人協働ネットワーク代表世話人や始良市観光協会理事などを務め、多方面で地域づくりの活動を展開している。

【NPO法人 くすの木自然館】

<http://www.kusunokishizenkan.com/>

平成7年に環境教育と自然体験を提供する機関として設立し、平成12年県認証の環境教育を行うNPO法人となる。生態系・地域資源の実態調査を元に環境教育事業を進め、地域づくり・人材育成を行っている。

藤谷 Lab蒲生郷の藤谷です。幽栖寺の住職をしています。Lab蒲生郷は、将来の地域の担い手である青少年を中心に、地域住民に自然や文化、芸術を中心に発信し、蒲生の魅力を伝えていく活動を展開しています。また、地域安全活動や住民参加型のまちづくりに関する取り組みでは、将来を担う人材育成を図りながら地域社会の発展に向けて

市長 皆さんのお話をお聞きして、それぞれの活動で大事なことは、主体的に動く人たちだけではなく、関わりを持つ人たちと一体となる必要が、必要だということを感じました。舞台で言う役者、裏方

杉田 ケアネットあいらの杉田です。ケアネットあいらは、保健・医療や福祉の増進を図る事業を通じて、高齢者の暮らしやすい地域づくりのお手伝いを行っています。また、まちづくりというかたちで始良市のNPO法人ネットワーク協議会と連携して、いろいろな活動をしているところです。今年には創立10周年を契機に何か新しいことをしたいと思っています。特に行政との協働、

北野 始良スポーツクラブの北野です。始良スポーツクラブは、国のスポーツ振興基本計画に基づいて設立されたクラブで、幼児から若者、高齢者、障害者の皆さんまで多くのかたがたを対象としたプログラムを提供して、誰もが体力や年齢に合わせて「いつでも・どこでも・誰でも・いつまでも」の気持ちで気軽に参加できるクラブです。現在始良市の総合運動公園を中心に

約70のサークルが活動しておりまして、それ以外に市の施設や地区の公民館施設、ある

いは学校施設をお借りしてプログラム提供をしております。

活動しています。有名になってきたカモコレは、ただ観光だけではなく蒲生にいたる人たちに参画していただきながら、蒲生のことをより知っていただくことも目的として行っています。

どもやっていますし、今障害をお持ちのかたの就労支援講座なども行っています。また、いろいろな企業や地域のかたがた、自治会などつながりながらやっています。思っています。

それと同業のNPO法人との協働を進めながら、いろいろやっています。その他にも第2回の子どもサミットに向けて勉強したり活動の準備をしているところです。

立山 くすの木自然館の立山です。くすの木自然館は、環境教育を通して美しく豊かな鹿児島の自然環境を後世にいい状態で引き継ぐために、環境保全を進めています。ご存じのとおり、重富の海水浴場で海の環境保全に取り組んでいます。基本は森も山も海もすべてのフィールドで、もしくは町のなかでも皆さんに自然環境や生活環境はこんなにはばらしい所だと、まちの自慢ができるような人育てや意識改革ができればいいなど、それによって自然を残していければ、ふるさとの風土、自

伊集院 サポートロココペリの伊集院と申します。サポートロココペリは、まだ立ち上げてやっと1年経ったばかりですが、地域福祉と地域雇用の充実ということで、障害者就労支援を中心とした活動を行っています。地域福祉の充実のための高齢者生活支援や障害者生活支援をはじめ、地域雇用の充実を図るため、各種講座や訓練、実習、イベントなどを開催しています。今年度は、始良市から介護予防サポーター制度事業の委託を受けて、これから介護をサポーターするよう人たちの養成な

司会 まず自己紹介を兼ねて、皆さんの紹介と活動状況などをお話してください。

然だけではなくて、歴史、文化なども残していこうという活動をしています。



2012 新春座談

今年3年目を迎える始良市。「県央の良さを活かした、県内一くらしやすいまちづくり」を基本理念に、地域の特性を踏まえた施策が、積極的に展開されそうです。

今回は、さまざまな立場で活躍されている市内のNPO法人（くすの木自然館、ケアネットあいら、サポートロココペリ、始良スポーツクラブ、Lab蒲生郷）を代表して出席いただいた皆さんと笹山義弘市長が和やかな雰囲気の中、始良市のまちづくりや今年の抱負について語り合いました。

（本文中は敬称略。座談会は、昨年蒲生地区にオープンしたあいらスイーツCAFEら・びゅーで行いました）



杉田 文彦 (すぎた ふみひこ)

NPO法人「ケアネットあいら」理事長

NPO法人ケアネットあいらを事業主体として、認知症対応型共同生活介護を行う「グループホーム明倫館」を運営する。

【NPO法人 ケアネットあいら】

http://www12.ocn.ne.jp/~sinseika/top1.htm

福祉こそ実践が重要という視点で、介護保険法に基づくさまざまな事業を実践し、行政や市民と協働する地域づくりや福祉活動を展開する。

それから観客が一体だということ。役者だけではうまくいかないし、裏方がしっかり支える、観客もサポーター的にリピーターとして支えていくということが大事です。私はいつも始良市のまちづくりについて、「県央の良さを活かした、県内一くらしやすいまちづくり」を目指すとお話ししています。本日ご出席いただいている皆さんはいろいろな活動をされていますが、活性化というのは若者がいるから活性化するのはなく、お年を召したかた、障害のあるかた、いろんなかたがそれぞれその立場で生かされる、そんなまちにしたいと思っています。また、始良市は交通アクセスの面でいい素材をたくさん持つっていて、とても交通の便がいいということを見んなが認識され、さまざまな企業の引き合いが増えてきました。この地域はもともそういう素地を持っていたんです。それが始良市になったことで速度を増して、今すぐ始良市としての運気を持っているとと思っています。それから、まちづくりを行う中で、オンリーワンでいいか

ら何かひとつ、例えば河川の浄化については取り組みが一番とか、伝統芸能の継承の仕方が優れているとか、それぞれの地域を大事にしていこうとが大切ですね。
司会 今、市長から始良市が位置的に潜在能力を秘めているということなど、いろいろお話をいただきました。先ほど、皆さんから現在の活動とか方向性などをお話しいただきました。始良市で活動されてこんなところがいいよねというようにあるところがあるなら、どなたからでもお話しください。
杉田 始良市の介護の仕事をしていて、認知症の啓発活動などを行っています。市になってから認知症サポーター講座や介護劇などに市職員のかたが一緒に参加していただき、まさに草の根で感じています。また、県内でいち早くNPO法人のネットワーク化に着手し、NPO法人同士のつながりができていくところがすばらしいと思います。
市長 この前、白銀坂を登ったんですが、とてもよかったですよ。J.Tの森にも行きましたが、始良市を展望所から眺めると、山に囲まれた町並みがそろっていて、とてもきれいでした。おまけに、思川の川が流れていて、それぞれの川のところに文化が広がり、非常に一体的なまちになっていると感じました。また、人的な財産ということも考えると、表に出たいと思っている人もいろいろいるし、引っ張り出さないとすこい人もたくさんいるわけですね。この人的ネットワークを、

ワークを、引っ張り出すシステムを作っていく必要があると思っています。始良市には天の利、地の利もありますが、何よりも人の利が一番大切で、始良市に在る優れた人材を引っ張り出していただければと思います。
司会 今度は、始良市に欠けているところがあれば、どなたからでもお話しください。
立山 始良市になってから、まだ自然景観や生態系の保護条例が整備されていないところですね。クロツラヘラサギなどの生態系をどう管理していくか、今エコツアーとして利用しようとしているんですが、利用しっぱなしでは影

響を与えてしまう可能性があり、ガイド同士の共通認識だけでは突っ走ってしまう場合もあるので、きちんと条例化して、生態系保護についての線引きをきちんとした上で利用したいと思うんです。ノウハウがあるメンバーはたくさんいますが、私たちももっと技術を高めたいですね。また、錦江湾が国立公園になりますので、これからこういう景観をまち全体で持たたいのかという考えをまとめて、景観条例を整備したほうがいいと思います。あとは、国立公園に関するビジターセンターをぜひ始良市に誘致していただきたいということです。
市長 ガイドについて言えば、例えば日南市の飯肥に行ってみると徹底していますね。飯肥の町並みもすばらしいですけど、歴史ボランティアの存在も大きいと思います。白銀坂やJ.Tの森を登るとき、森のボランティアのようなかたと一緒に歩いて、いろいろ解説していただければ、ただ歩くだけに比べると疲れないし、

たいと思っています。なかなか前に出られないかたやそういう機会がなかったり、ボランティアをしたいという人たちをもっと引き出してあげられるようなイベントなどがあれば、始良市はもっと良くなると思います。
北野 現在管理している総合運動公園は、体育館を中心として、県央ということもあって九州各地から交通のアクセスがいいため、多くのかたがたに利用していただいています。これまで中国雑技団の公演や婚活などを自主事業で企画してきましたが、NHKの巡回ラジオ体操をぜひ総合運動公園に招致したいと考えています。また、おおくすア

になると思います。
杉田 要望として、個人が起業しやすい環境を整えていただければと思います。例えば個人が起業するときによつと助成金が出るのか、税制の面で優遇があるのか、市でできる範囲でいいですから、そういうのがあると始良市はものすごく便利な地の利がある場所ですので、起業しやすいと思います。
藤谷 農業なども一緒かもしれませんが、田んぼを作る人がほとんどいなくなる中で、もっと気軽に田んぼが買えたり、気軽に田んぼが作れたらいいですね。
市長 さっき条例の話がありました。ある意味条例化すると制限をかけないといけない部分が出てくるため、どういう考え方の元でするのかはつきりしないといけないですね。農業については、新規就農者の奨励金や認定農業者の支援など、市から独自の支援制度もあるんですよ。
伊集院 市民のかたが、これ

ら何かひとつ、例えば河川の浄化については取り組みが一番とか、伝統芸能の継承の仕方が優れているとか、それぞれの地域を大事にしていこうとが大切ですね。
司会 今、市長から始良市が位置的に潜在能力を秘めているということなど、いろいろお話をいただきました。先ほど、皆さんから現在の活動とか方向性などをお話しいただきました。始良市で活動されてこんなところがいいよねというようにあるところがあるなら、どなたからでもお話しください。
杉田 始良市の介護の仕事をしていて、認知症の啓発活動などを行っています。市になってから認知症サポーター講座や介護劇などに市職員のかたが一緒に参加していただき、まさに草の根で感じています。また、県内でいち早くNPO法人のネットワーク化に着手し、NPO法人同士のつながりができていくところがすばらしいと思います。
市長 この前、白銀坂を登ったんですが、とてもよかったですよ。J.Tの森にも行きましたが、始良市を展望所から眺めると、山に囲まれた町並みがそろっていて、とてもきれいでした。おまけに、思川の川が流れていて、それぞれの川のところに文化が広がり、非常に一体的なまちになっていると感じました。また、人的な財産ということも考えると、表に出たいと思っている人もいろいろいるし、引っ張り出さないとすこい人もたくさんいるわけですね。この人的ネットワークを、

ワークを、引っ張り出すシステムを作っていく必要があると思っています。始良市には天の利、地の利もありますが、何よりも人の利が一番大切で、始良市に在る優れた人材を引っ張り出していただければと思います。
司会 今度は、始良市に欠けているところがあれば、どなたからでもお話しください。
立山 始良市になってから、まだ自然景観や生態系の保護条例が整備されていないところですね。クロツラヘラサギなどの生態系をどう管理していくか、今エコツアーとして利用しようとしているんですが、利用しっぱなしでは影

響を与えてしまう可能性があり、ガイド同士の共通認識だけでは突っ走ってしまう場合もあるので、きちんと条例化して、生態系保護についての線引きをきちんとした上で利用したいと思うんです。ノウハウがあるメンバーはたくさんいますが、私たちももっと技術を高めたいですね。また、錦江湾が国立公園になりますので、これからこういう景観をまち全体で持たたいのかという考えをまとめて、景観条例を整備したほうがいいと思います。あとは、国立公園に関するビジターセンターをぜひ始良市に誘致していただきたいということです。
市長 ガイドについて言えば、例えば日南市の飯肥に行ってみると徹底していますね。飯肥の町並みもすばらしいですけど、歴史ボランティアの存在も大きいと思います。白銀坂やJ.Tの森を登るとき、森のボランティアのようなかたと一緒に歩いて、いろいろ解説していただければ、ただ歩くだけに比べると疲れないし、

たいと思っています。なかなか前に出られないかたやそういう機会がなかったり、ボランティアをしたいという人たちをもっと引き出してあげられるようなイベントなどがあれば、始良市はもっと良くなると思います。
北野 現在管理している総合運動公園は、体育館を中心として、県央ということもあって九州各地から交通のアクセスがいいため、多くのかたがたに利用していただいています。これまで中国雑技団の公演や婚活などを自主事業で企画してきましたが、NHKの巡回ラジオ体操をぜひ総合運動公園に招致したいと考えています。また、おおくすア

になると思います。
杉田 要望として、個人が起業しやすい環境を整えていただければと思います。例えば個人が起業するときによつと助成金が出るのか、税制の面で優遇があるのか、市でできる範囲でいいですから、そういうのがあると始良市はものすごく便利な地の利がある場所ですので、起業しやすいと思います。
藤谷 農業なども一緒かもしれませんが、田んぼを作る人がほとんどいなくなる中で、もっと気軽に田んぼが買えたり、気軽に田んぼが作れたらいいですね。
市長 さっき条例の話がありました。ある意味条例化すると制限をかけないといけない部分が出てくるため、どういう考え方の元でするのかはつきりしないといけないですね。農業については、新規就農者の奨励金や認定農業者の支援など、市から独自の支援制度もあるんですよ。
伊集院 市民のかたが、これ

ら何かひとつ、例えば河川の浄化については取り組みが一番とか、伝統芸能の継承の仕方が優れているとか、それぞれの地域を大事にしていこうとが大切ですね。
司会 今、市長から始良市が位置的に潜在能力を秘めているということなど、いろいろお話をいただきました。先ほど、皆さんから現在の活動とか方向性などをお話しいただきました。始良市で活動されてこんなところがいいよねというようにあるところがあるなら、どなたからでもお話しください。
杉田 始良市の介護の仕事をしていて、認知症の啓発活動などを行っています。市になってから認知症サポーター講座や介護劇などに市職員のかたが一緒に参加していただき、まさに草の根で感じています。また、県内でいち早くNPO法人のネットワーク化に着手し、NPO法人同士のつながりができていくところがすばらしいと思います。
市長 この前、白銀坂を登ったんですが、とてもよかったですよ。J.Tの森にも行きましたが、始良市を展望所から眺めると、山に囲まれた町並みがそろっていて、とてもきれいでした。おまけに、思川の川が流れていて、それぞれの川のところに文化が広がり、非常に一体的なまちになっていると感じました。また、人的な財産ということも考えると、表に出たいと思っている人もいろいろいるし、引っ張り出さないとすこい人もたくさんいるわけですね。この人的ネットワークを、

ワークを、引っ張り出すシステムを作っていく必要があると思っています。始良市には天の利、地の利もありますが、何よりも人の利が一番大切で、始良市に在る優れた人材を引っ張り出していただければと思います。
司会 今度は、始良市に欠けているところがあれば、どなたからでもお話しください。
立山 始良市になってから、まだ自然景観や生態系の保護条例が整備されていないところですね。クロツラヘラサギなどの生態系をどう管理していくか、今エコツアーとして利用しようとしているんですが、利用しっぱなしでは影

響を与えてしまう可能性があり、ガイド同士の共通認識だけでは突っ走ってしまう場合もあるので、きちんと条例化して、生態系保護についての線引きをきちんとした上で利用したいと思うんです。ノウハウがあるメンバーはたくさんいますが、私たちももっと技術を高めたいですね。また、錦江湾が国立公園になりますので、これからこういう景観をまち全体で持たたいのかという考えをまとめて、景観条例を整備したほうがいいと思います。あとは、国立公園に関するビジターセンターをぜひ始良市に誘致していただきたいということです。
市長 ガイドについて言えば、例えば日南市の飯肥に行ってみると徹底していますね。飯肥の町並みもすばらしいですけど、歴史ボランティアの存在も大きいと思います。白銀坂やJ.Tの森を登るとき、森のボランティアのようなかたと一緒に歩いて、いろいろ解説していただければ、ただ歩くだけに比べると疲れないし、

たいと思っています。なかなか前に出られないかたやそういう機会がなかったり、ボランティアをしたいという人たちをもっと引き出してあげられるようなイベントなどがあれば、始良市はもっと良くなると思います。
北野 現在管理している総合運動公園は、体育館を中心として、県央ということもあって九州各地から交通のアクセスがいいため、多くのかたがたに利用していただいています。これまで中国雑技団の公演や婚活などを自主事業で企画してきましたが、NHKの巡回ラジオ体操をぜひ総合運動公園に招致したいと考えています。また、おおくすア

になると思います。
杉田 要望として、個人が起業しやすい環境を整えていただければと思います。例えば個人が起業するときによつと助成金が出るのか、税制の面で優遇があるのか、市でできる範囲でいいですから、そういうのがあると始良市はものすごく便利な地の利がある場所ですので、起業しやすいと思います。
藤谷 農業なども一緒かもしれませんが、田んぼを作る人がほとんどいなくなる中で、もっと気軽に田んぼが買えたり、気軽に田んぼが作れたらいいですね。
市長 さっき条例の話がありました。ある意味条例化すると制限をかけないといけない部分が出てくるため、どういう考え方の元でするのかはつきりしないといけないですね。農業については、新規就農者の奨励金や認定農業者の支援など、市から独自の支援制度もあるんですよ。
伊集院 市民のかたが、これ

になると思います。
杉田 要望として、個人が起業しやすい環境を整えていただければと思います。例えば個人が起業するときによつと助成金が出るのか、税制の面で優遇があるのか、市でできる範囲でいいですから、そういうのがあると始良市はものすごく便利な地の利がある場所ですので、起業しやすいと思います。
藤谷 農業なども一緒かもしれませんが、田んぼを作る人がほとんどいなくなる中で、もっと気軽に田んぼが買えたり、気軽に田んぼが作れたらいいですね。
市長 さっき条例の話がありました。ある意味条例化すると制限をかけないといけない部分が出てくるため、どういう考え方の元でするのかはつきりしないといけないですね。農業については、新規就農者の奨励金や認定農業者の支援など、市から独自の支援制度もあるんですよ。
伊集院 市民のかたが、これ



北野 隆行 (きたの たかゆき)
NPO法人「始良スポーツクラブ」施設長

これまでのクラブマネージャーとしての経験を通じ、施設の管理者として多くの市民とのふれあいを楽しみながら始良市のスポーツ振興に日々奔走中。
【NPO法人始良スポーツクラブ】
<http://www4.ocn.ne.jp/~asc/>
クラブのモットーは「いつでも・どこでも・誰でも・いつまでも」の気持ちで参加ができること。青少年の健全育成、仲間・生きがいがづくり、医療費の削減などを目的に約70を超えるサークルが、活動している。

から介護の予防について意識を高めるための仕組みづくりが必要だと思えます。いきいきサロンの皆さんから、もっと専門的な情報がほしいと言われます。介護予防サポーターの養成講座を行っていますので、そういう専門的な情報を定期的にどんとンサポーターを通じてお知らせできると思っています。

杉田 ひとつの組織だけで運営していくと、マンネリ化してしまうので、いろいろな情報が必要になると思えます。だから、自分たちもですが、行政や企業が入るといいですね。あと私たちの介護劇などを作って、各地のいきいきサロンを回るのもいいですね。

北野 今、絆という漢字の話が出たんですが、大事だと思えますね。人と人とのふれあい、絆が大事だと思えます。これが地域の活性化につながるでしょうし、さつき出た隠れた人材の発掘、それを認めてあげる制度、これをどうしても進めたいだと思えます。それから、今ここに同席されているNPO団体は、それぞれ違う分野で活躍されているので、そのノウハウをわれわれスポーツクラブとしてなんとか生かせないものかと考えています。

伊集院 皆さんが言われたように、うちのNPOも地域福祉と地域雇用の充実を目指すということコンセプトとして動いていますので、地域や人とつながって、みんな一人ひとりのできることを出して作りあげるといって、そして人を引き出して、その個性を引き出すということを目指したいと思えます。そして、地域福祉と地域雇用が充実できたらいなと思えますし、こういう交流を通じてい

伊集院 そうそう。そんな仕組み作りがあると、サロンが活性化して家から外に出てくる人たちも多くなるんじゃないかなと思えますね。それは私たちが強制的に教育することではなくて、自分たちの持っている元々の力を自分たちの力で発揮させることだと思えます。そういう仕組み作りの中に行政も手伝いをいただけたら、企業、地域、人というかたちのつながりで介護保険のいろんな問題も解決できるんじゃないかなと思えます。

立山 先ほど市長が言われていたオンリーワンということについて、オンリーワン認定制度というようなものではないかなと思えます。いろんな情報交換をしながら行政ともつながってやっていければいいと思えます。

立山 始良市には蒲生市とか加治木の初市とかウミベダマルシエとか市がすこしずつある。ちこち広がりがつあるの、そういう市のネットワーク化ができればいいと思えます。私たちが生活している場所のすぐ横が国立公園というの、今までない国立公園のスタイルだと思えますね。これから、この国立公園のスタイルをシンボルとしてPRしていきけるような市になればいいと思えます。全国的にも世界的にもカルデアラとして活火山の目の前に生活しているって、その象徴的な場所が始良だと自信をもって発信できる場所になっていけばいいですね。

市長 始良市をこうしたいと思えないでしようか。毎年、何かこの分野でがんばりましたという個人や団体のかたがたの努力を認定していただく制度があると、生きがいを求めていらつしやるかたはがんばろうかなとか少しでも発奮材料になると思えますね。例えば、地元で竹細工を細々と作っているけれども、それって1等賞じゃない、という推薦があれば表彰をするとか。認めてもらえるというのは励みになりますよ。

北野 例えば、トレーニングジムに年間を通して休まず来られたかたや、通算で来られた回数が多いかたなどに何か皆勤賞とか認定証のようなものを差し上げることができ

北野 例えは、トレーニンジムに年間を通して休まず来られたかたや、通算で来られた回数が多いかたなどに何か皆勤賞とか認定証のようなものを差し上げることができ

北野 例えは、トレーニンジムに年間を通して休まず来られたかたや、通算で来られた回数が多いかたなどに何か皆勤賞とか認定証のようなものを差し上げることができ

藤谷 亜太可 (ふじたに あたか)
NPO法人「Lab蒲生郷」
平成19年にNPO法人「Lab蒲生郷」を設立し、着地型観光イベント「カモコレ」を主催する。
【カモコレ】
<http://kamo-go.net/pages/lab.html>
ワクワクするような体験型の催しが行われる「カモコレ」は、これまでに5回の開催。回を重ねるごとにさまざまな人とのコラボによるイベントが作りだされている。



市長 そういった活動の人たちの紹介をしたり、表彰をして一緒に話しをさせていた、これがまた励みになると思えば、それはひとつ考えしてみないといけないですね。

司会 それでは最後に、平成23年の漢字として、「絆」という漢字が発表されました。これは東北で大変な災害があつて、その中から人と人との関係の大切さを国民の皆さんが感じて、選ばれたのかなと感じたところですか。それを踏まえて、始良市の今後のまちづくりとか、それにそれぞれの団体がこう関わっていきたいといったことをお話しください。

杉田 昨年の8月に子どもサミットを行いました。始良市のことを子どもたちに知ってもらい、子どもたちを通じて親のかたにも知ってもらいたいということでした。なかなか思いつくかたにいかにかつたけれども、やっぱりこれを継続していくことが大事

例えは「蒲生の大楠は、日本一の巨樹として認定されているんですよ。大楠のある蒲生は、始良市にあるんですよ。」「重富の山野浜はきれいですよ。山野浜のある重富は、始良市にあるんですよ。このような考え方で、地域の特性や特徴と始良市を結び付けていただくことで、いいんじゃないかなと思っています。

また、地域の特性を大事にして特徴を十分出していただいて、大楠と言えは蒲生の大楠なんです。始良の大楠じゃなくて蒲生の大楠です。

藤谷 Lab蒲生郷も人作りがメインなので、子どもたちの感性をもっと豊かにするよな活動をしていきたいです。子どもたちは、将来、始良から出て行く可能性は大きいんですが、始良に生まれたという心が心の支えになるような、どこで生活するにしてもふるさと始良があつて、始良の中の蒲生、加治木、始良に生まれたということが心の支えになるような感性をきちんと築いていけるようにしていきたいと思えます。それから始良市に住んでいることが自慢になるようなまち、始良市のどこに住んでも自分で住んでいる場所に魅力を感じていけるようなまちになればいい

藤谷 Lab蒲生郷も人作りがメインなので、子どもたちの感性をもっと豊かにするよな活動をしていきたいです。子どもたちは、将来、始良から出て行く可能性は大きいんですが、始良に生まれたという心が心の支えになるような、どこで生活するにしてもふるさと始良があつて、始良の中の蒲生、加治木、始良に生まれたということが心の支えになるような感性をきちんと築いていけるようにしていきたいと思えます。それから始良市に住んでいることが自慢になるようなまち、始良市のどこに住んでも自分で住んでいる場所に魅力を感じていけるようなまちになればいい

藤谷 Lab蒲生郷も人作りがメインなので、子どもたちの感性をもっと豊かにするよな活動をしていきたいです。子どもたちは、将来、始良から出て行く可能性は大きいんですが、始良に生まれたという心が心の支えになるような、どこで生活するにしてもふるさと始良があつて、始良の中の蒲生、加治木、始良に生まれたということが心の支えになるような感性をきちんと築いていけるようにしていきたいと思えます。それから始良市に住んでいることが自慢になるようなまち、始良市のどこに住んでも自分で住んでいる場所に魅力を感じていけるようなまちになればいい

司会 皆さんの影響力は、とても大きいと思えます。今後とも皆さんのご活躍とご支援をお願いいたします。

今年、皆さんにとっても始良市にとっても飛躍の年になりそうですね。本日はお忙しい中、ご出席いただきまして、本当にありがとうございます。これで座談会を終了いたします。

あいらふるさと祭り

●12月3日、4日 始良公民館

琉球国祭り太鼓の演奏などがステージで披露されました。また、野菜品評会入賞者の出品野菜の競りやお楽しみ抽選会などが行われ、会場は大いに盛り上がりました。



山田小学校が文部科学大臣表彰を受賞

●11月28日 山田小学校

「目指せ、年間読書100冊以上」を合言葉にさまざまな読書活動に取り組む山田小学校が「子どもの読書活動優秀実践校」として文部科学大臣表彰を受賞し、受賞伝達式が行われました。



小学生らが相撲に挑戦

●11月23日 加治木小学校

第1回目となる「義弘公小学生親睦奉賛相撲大会」が開催されました。大会には、加治木地区の5つの小学校から100人が集まり、学年別・男女別で勝敗が競われました。



森林とふれあい体験

●11月27日 建昌城跡

NPO法人四季の会が「森林とふれあい体験」を開催し、特別支援学校の生徒らが参加しました。落ち葉やドングリなどを使った森林絵画やセンリョウの植樹、竹の貯金箱作りなどを行い、森林とふれあいました。



日本一大楠どんと秋まつりが高円宮賞を受賞

●12月16日 蒲生総合支所

12月13日に東京韓国文化院で行われた第3回高円宮記念日韓交流基金顕彰式典において、草の根交流として長年続けてきた韓国との相互交流が評価された「日本一大楠どんと秋まつり実行委員会」が高円宮賞を受賞し、田中久嗣実行委員長が報告に来られました。



●11月19日、20日 蒲生八幡神社、蒲生小学校、蒲生観光交流センター
韓国ソウル市の国立伝統芸術高等学校の韓国伝統芸術や蒲生郷太鼓坊主の演奏などがステージで披露されました。また、岩手県花巻のわんこそば体験や愛蒲生（アイガモ）レースなど多くの催しで会場が賑わいました。



加治木秋まつり

●11月13日 加音ホール、加治木グラウンド

キャラクターショーをはじめ、多くの催しで賑わいました。また、「ふるさと交通安全フェア」も同時に開催されました。



帖佐八幡神社の浜下り

●11月20日 稲荷神社～神門神社

市指定の伝統行事である「帖佐八幡神社の浜下り」が開催されました。これは同保存会が毎年行っているもので、地域のかたがたや青少年らが武者行列に参加しました。





街頭キャンペーンで 飲酒運転の根絶を訴える

●12月9日 県道川内加治木線
信号機をイメージした“交通安全かじきまんじゅう”や“夜光反射材付手袋”、蒲生小学校児童が作成した“交通安全メッセージ”などを配布して、“飲酒運転の根絶”を訴えました。

そば打ちを体験

●12月23日 始良生活改善センター
北山校区そばの里づくり協議会が主催する「年越しそば打ち講座」が開催され、親子連れなどがそば打ちを体験しました。当日使用したそば粉は、校区内の耕作地で、参加者らも協力して栽培したそばから挽いたものです。参加者らは自分で栽培し、自分で打ったそばの味を楽しみました。



子どもたちが人権について発表

●12月4日 蒲生公民館
「みんなで築こう人権の世紀～考えよう相手の気持ち育てよう思いやりの心～」を重点目標に啓発活動が行われた人権週間に「人権作文フォーラム・イン・蒲生」が開催されました。これは、霧島人権擁護委員協議会等の主催で行われたもので、会場では、子どもたちが人権についての作文を発表しました。



「ツキノワグマ」現る

●11月17日 棕鳩十文学記念館
長野県の山肉専門店「星野屋」からツキノワグマの剥製が寄贈されました。これは、愛知県在住の加治木高校同窓生でつくる「東海龍門会」のお世話で実現したものです。当日は、体長1.2m、体重45kgの剥製が、加治木幼稚園児を前にお披露目されました。

子どもたちがお年寄りを疑似体験

●12月27日 ろうけん始良
認知症サポーター養成の一環として、子どもたちに高齢者の気持ちや身体能力、その大変さなどを知ってもらおうと高齢者体験会が開催されました。体験セットを装着した子どもと介護役の子どもが協力しながら、段差を乗り越えたり、ペットボトルのふたの開け閉めなどを体験しました。



行政改革大綱実施計画案の答申

●12月8日 市役所本庁
行政改革推進委員会（会長：有馬純春志学館大学法学部教授）が、行政改革大綱に示した重点項目を集中的に実施するための取り組み事項を明記し、その進行管理を行うための実施計画案についての答申を行いました。



華やかな舞台発表と数々の創作品で 始良の芸術を堪能

●12月3日、4日 加音ホール
芸術文化に親しむ市民の皆さんが、日頃の活動の成果を発表する場として、第1回始良市文化芸術祭が開催されました。始良市文化協会所属の団体をはじめとし、小・中学校、高校などが舞台での芸術発表や絵画や俳句、陶芸、書道などの展示を行いました。



●12月21日 若葉学園
錦海漁業協同組合が「新鮮で健康にも良い魚を子どもたちに食べて欲しい」と、若葉学園にブリ3匹を寄贈しました。子どもたちにとっては、おいしいクリスマスプレゼントになりました。

伝統ある蒲生市

●12月23日、24日 蒲生町商店街
藩政時代から現在までずっと行われている“蒲生市”が開催されました。会場では、さまざまな露店が並び、お正月用品などを買い求めるお客などで賑わいました。



図書館からこんにちは!

本を読むってすばらしい

休館のお知らせ(特別整理期間) 休館日: 2月11日(土)~29日(水)

3月に図書館システムが統合されます。その作業にともない2月11日~29日までの期間、市立図書館は全館(公民館図書室含む)休館となります。大変ご迷惑をお掛けしますが、ご協力をお願いします。

長期休館期間にともない、貸出冊数の増冊をおこないます。

	図書資料	雑誌	視聴覚資料
中央図書館	10冊	2冊	2点
加治木図書館	10冊(うち雑誌は5冊まで)		1点
蒲生公民館図書室	10冊(うち雑誌は、高校生以上は5冊まで、中学生以下は3冊まで)		

●貸出冊数増冊期間
2月1日(水)~10日(金)

加治木図書館から

今月おすすめの本



「竜の本」

編著: ルース・マニング=サンダース
訳: 西本鶏介

世界的な民話採集者が選りすぐった竜のおはなし。ダイナミックでわくわくするお話が収録されている。

「龍のすむ家」

著者: クリス・ダレーシー
訳: 三辺律子

「下宿人募集」ただし子どもとネコと竜が好き。奇妙な張り紙を見つけたデビットが行った先は…。謎だらけの下宿生活が始まった。



新年明けましておめでとうございます。今年には辰年。動物では竜にあてられます。竜は豊作をもたらす雨を象徴しているといわれています。また西洋では、善と悪を両方あわせ持つドラゴンとして語り継がれています。そこで今年の干支に通じて「竜」に関する本を紹介します。



「ほしになつたりゅうのきば」

再話: 君島久子 画: 赤羽末吉
りゅうのけんかで裂けてしまった天。サン(英雄)と名付けられた若者は、人々の苦難を救いに出かけます。

「エルマーとりゅう」

編著: ルース・スタイル・ガネット
訳: 渡辺茂男

エルマーとりゅうは、嵐にあって、カナリヤ島におこちます。島の王様の知りたがり病をなおし宝物をもらって家へかえります。半世紀近く子どもたちに読み継がれている愉快な冒険のおはなし。



加治木図書館から 新着図書の紹介

○一般書

- ・「がんばらない」をいきる/鎌田 實
- ・「日記で読む日本中世史」/元木泰雄
- ・ピジュアル源平1000人清盛、頼朝、義経/世界文化社
- ・夢うばわれても 拉致と人生/蓮池 薫
- ・子育てのヒント/外山滋比古
- ・脚がむずむずしたら読む本/井上雄一
- ・「安全なたべもの」ってなんだろう?/畝山智香子
- ・これでおしまい(我が老後)/佐藤愛子
- ・永遠をさがしに/原田マハ

○児童書

- ・学習新聞のつくり方事典/鈴木伸男(編)
- ・ゆきがふるよ、ムーミントロール/トーベ・ヤンソン
- ・ドレミファ荘のジジルさん/たかどのほうこ
- ・魔狼、月に吠える/香月日輪
- ・おやこペンギンジェイとドゥのゆきあそび/片平直樹
- ・おてがみで一す! /くすのきしげのり

2月のおはなし会及び中央図書館映画会の日程

おはなし会

・絵本の読み聞かせなどを行っています。
お気軽にお越しください

期日	館名	場所	時間
4日 土	中央図書館	おはなしコーナー	午後3時~
10日 金	中央図書館	研修室	午前11時~

中央図書館映画会

2月の映画会スケジュール

- 【水曜名画座】1日(水)・4日(土)「エデンの東」
8日(水)「私の頭の中の消しゴム」
- 【親子映画会】4日(土)「トムとジェリー」
5日(日)「サンリオ映画コレクション 星のオルフェウス」

2月の休館日

中央図書館・加治木図書館…6日(月)、11日(土)~29日(水) 特別整理期間

蒲生公民館図書室……………11日(土)~29日(水) 特別整理期間

【問合せ先】 中央図書館 TEL 64-5600 加治木図書館 TEL 62-2605 蒲生公民館図書室 TEL 52-1771

学校へ行ってみよう!

西始良小は、昭和59年に開校し創立28年、児童数は242人です。校区は、九州縦貫道に沿う山間部を造成した住宅地からなり、緑豊かな環境で、錦江湾と桜島を望む眺望は素晴らしいものがあります。

学校教育目標
やさしい心をもち、すすんで学び、たくましく、豊かにのびる西始良の子どもを育てる。

キャッチフレーズ
元気がいっぱい 花いっぱい 笑顔いっぱい
「夢開く西始良小」
「Jリーガー3名輩出の学校」



西始良小学校

「学力向上推進プラン」の推進
西始良小は、重富中ブロックの各学校と連携を取りながら「学力向上推進プラン」を策定し、学力向上に向けた取組を行っています。学習の



ヒマワリの花々に見守られ元気に登校

「人権の花」運動
西始良小は、「人権の花」運動協力校の指定を受け、ヒマワリの栽培を通して、子どもたちに思いやりや人権を大切にする心を育んできました。暑い日も当番の子どもが水かけを頑張る、夏には、花壇いっぱいヒマワリの花が咲き誇りました。秋には何万粒もの種が収穫でき、子どもたちが袋詰めにして、バザーの際に地域のかたがたへ配りました。この運動を、さらに広げようと子どもたちも張り切っています。

運動大好き西始良っ子
西始良小は、平成21~22年度に県の指定を受け、「体づくり運動」の学習を中心に「気力・体力づくり」の研究、実践を重ねてきました。その取組が認められ、今年度、九州地区学校体育研究発表大会で県を代表して発表し、また、文部科学省より「全国学校体育優良校」として表彰されました。今後も、気力・体力の向上に向け、取組をさらに充実・発展させていきます。



学校評議員による授業参観

しつけの定着をめざした「学習の7つの約束」・「見やすいノート例」の作成、家庭学習の充実をめざした「家庭学習の手引き」・「よい子の生活表」の活用等、具体的な取組を進めています。今後も、各家庭・ブロック間の連携を強化しながら、学力向上に努めます。



いきいきワクワク塾

保護者は教育活動にとても協力的で、役員を中心に自主的・積極的なPTA活動が展開されています。また、「おやじの会」は、保護者・OBで構成され、「子どもに豊かな体験を味わって欲しい」と、「いきいきワクワク塾」を主催し、三代交流米づくりや川遊び、キャンプ、鬼火焚きなど、楽しい活動を提供しています。



全校で取り組むチャレンジかごしま

北山伝承館

趣味として伝統文化を楽しんでみませんか?

北山地区にある北山伝承館は、和紙づくりや竹細工づくりといった伝統文化が体験できる施設です。また、年間を通じて、竹細工や和紙、和太鼓の本格的な技術習得ができる講座を開講しています。

4月からは平成24年度の各講座がはじまります。何かはじめてみたいけど何をするか迷っているかた、趣味としても楽しめる伝統文化にチャレンジしてみませんか?



和紙講座

ランチョンマットやはがき等の紙すきはもちろん、染色した紙すきや灯り作りにも挑戦します。気分は芸術家!? あなただけのオリジナル作品が作れます。

竹細工講座

ざるやかごの日用雑貨、花器などの観賞品の作品づくりに1年を通して取り組みます。また、2年、3年とレベルを上げ、最高5年の段階を踏むことができます。5年後にはあなたも竹細工のエキスパート!

和太鼓講座

全国で活躍する“松原上まむし太鼓”の皆さんが指導してくれます。音楽が好きなかたはもちろん、最近運動不足を感じているかたも是非!! 和太鼓はとっても良い運動になりますよ。

※各種講座や短期教室の募集や申込等の情報は、その都度、お知らせします。

誰でも楽しめる手すき和紙の体験

12月23日に行われた北山伝承館まつりで、手すき和紙の体験をした西さん、瀬尾さん、佐藤さん。「楽しみながら和紙づくりができ、素敵な作品に仕上がりました」と感激されていました。



※年齢や人数に応じて、手すき和紙の体験メニューを準備しますので、お気軽にお問い合わせください。

世界でたった一枚しかないあなただけの和紙を作ってみませんか? はがきやしおり、B4サイズの紙などの手すき和紙の体験メニューが楽しめます。

～手すき和紙づくり体験の工程～

- ① 漉き舟で紙を漉く**
水を張った漉き舟の中に原材料の繊維を入れよく攪拌し、ネリ（化学のり）を混入しながら竹棒で掻き回してほぐします。“溜め漉き”と“流し漉き”という漉き方があります。
- ② 漉いた紙の水分を取る**
乾燥を早めるための工夫として、吸引機で漉いた紙の余分な水分を吸い取ります。
- ③ 紙を乾燥する**
余分な水分を取り除いた紙を蒸気乾燥機に貼り付け乾燥させます。

【問合先】北山伝承館 TEL 54-4125

トライ・トライ・トライ!

健康の第一歩は体づくりから

いきいき健康生活は運動から! 楽しく身体を動かそう!

加治木・蒲生地区 **無料** 体験会開催!

次にご紹介する6つの種目を週替わりで体験できます。自由に参加できますので直接会場にお越しください。

【健康体操教室】

音楽に合わせて無理なく楽しく身体を動かします。身体をやさしく動かすことでスッキリとした気持ち味わえ心身ともにリフレッシュできます。



【フライングディスク】

円盤状のディスクを投げるスポーツです。速くに飛ばし飛行距離を競うディスタンス競技、丸いゴールを通過させコントロールの正確性を競うアキュラシー競技などがあり、健康者・障害者・年齢を問わず楽しめます。



【ニュースポーツ体験】



個人で楽しめる種目から、チームを組んでみんなで楽しむ種目まで、気軽に簡単にできるスポーツを体験します。一つの種目にとらわれずいろいろな楽しみましょう。

【ラージボール卓球】

通常の卓球ボールより大きい44mmのボールと高さ17.25cmのネットを使用します。大きなボールは、空気抵抗を受けやすく通常の卓球ボールよりもスピードが出ないので簡単に打ち返すことができ、ラリーが容易に続けられます。



【健康太極拳 (揚名時)】



心も身体もゆったりとした円を描く動きや呼吸法は悠々の大地で育かれた優れた健康法です。ゆっくりとした無理のない動きなので、どなたでも気軽に取り組みます。

【ターゲットバードゴルフ】

ルール、マナーなどゴルフと一緒に、狭い場所でゴルフの醍醐味が味わえるよう開発されたスポーツです。ピッチングウェッジで羽根付きボールを打ち、打数の少なさを競います。



★スポーツを通じていきいき健康! 楽しみながら運動習慣を身につけよう★

※動ける服装・室内シューズをご準備ください。

加治木地区活動日程

日程	時間	種目
2月6日(月)	13:30~15:00	健康体操教室
2月10日(金)	10:00~12:00	ニュースポーツ体験
2月20日(月)	13:30~15:30	ラージボール卓球
2月24日(金)	13:30~15:00	フライングディスク
3月5日(月)	13:30~15:00	健康体操教室
3月16日(金)	10:00~12:00	ニュースポーツ体験
3月19日(月)	13:30~15:30	ラージボール卓球
3月30日(金)	13:30~15:00	フライングディスク

●場所: 全種目とも加治木体育館

蒲生地区活動日程

日程	時間	種目
2月2日(木)	10:00~11:30	健康太極拳
2月9日(木)	10:00~11:30	ターゲットバードゴルフ
2月15日(水)	13:30~15:00	健康体操教室
2月23日(木)	10:00~11:30	ニュースポーツ体験
3月1日(木)	10:00~11:30	健康太極拳
3月8日(木)	10:00~11:30	ターゲットバードゴルフ
3月14日(水)	13:30~15:00	健康体操教室
3月22日(木)	10:00~11:30	ニュースポーツ体験

●場所: 3種目は蒲生多目的屋内運動場
ターゲットバードゴルフは蒲生運動公園



総合型地域スポーツクラブ

NPO法人 始良スポーツクラブ

TEL 65-2535

メール: asc@drive.ocn.ne.jp ホームページ: http://www4.ocn.ne.jp/~asc/



無料日帰りバス旅行に当選！ しかし、高額な貴金属を買う羽目に…

スーパーマーケットや飲食店等で、当選した無料バス旅行に行き、立ち寄った施設で、高額な貴金属や毛皮製品などを購入してしまった、という相談が寄せられています。

- その場の雰囲気や店員にびったりと付かれ、断り切れずに契約してしまったという例もあります。
- クーリング・オフ等ができる場合もありますが、まずは、契約する前に本当に必要なものか良く考え、冷静に判断することが大切です。



はっきりと断る勇気を持ちましょう

巡回消費生活相談 ・2月14日(火)／蒲生総合支所 1階市民室
[午前10時～正午] ・2月23日(木)／加治木総合支所 北庁舎2階相談室

無料法律相談 [午後1時～4時] ※無料法律相談は、事前予約が必要です。
・2月3日、10日、17日、24日(金)／市役所本庁 本館1階 第1相談室 予約受付 平日：午前9時～午後5時
・2月25日(土)／加治木ふれあいセンター ○無料法律相談の問合先 ひまわりの会事務局 TEL 099-227-0041

困ったときは一人で悩まず、まず相談！

【問合先】始良市消費生活センター TEL66-3111 (内線157)

だんじょきょうどうさんかく 男女共同参画の視点

「ジェンダー」とは文化的社会的な性別のことです。それは社会的につくられたものであることを意識していこうとする視点が「ジェンダーの視点」です。

始良市男女共同参画推進講座を開催

一男女で共に創る豊かなくらしー「心身ともに健やかに暮らすために」のテーマで3回の連続講座を開催しました。

第1回「こころと身体健康づくり」、第2回「男女共同参画の概念」～男女共同参画の基本的な考え方を理解する～、第3回「多様性に富んだ活力ある男女共同参画社会をめざして」～ワークショップ：実感しよう！一人ひとりの人権が尊重される素敵な社会を～と題して、性別に関わりなく、誰もが暮らしやすい、生きやすい社会のヒントを見いだすため、それぞれの立場で講演及びワークショップを実施しました。

自殺や非正規労働者の増加等が社会問題となっています。「男は仕事、女は家庭」といった性別役割分業の社会システムから男性も女性も生活者であり、労働者であるため、一人ひとりが多様な生き方の選択を可能にする社会システムに変えていく必要性や「みんなちがって、みんないい」一人ひとりの人権の尊重を学びました。



配偶者からの暴力(DV)は、犯罪となる行為をも含む重大な人権侵害です。

11月12日～25日の「女性に対する暴力をなくす運動」期間中のかじき秋祭り、ソロブチミストあいら(代表 中村安子氏)と始良市男女共同参画地域推進員のかたがたが、DV防止と相談案内のティッシュを配付されました。



女性相談 いろんな問題をかかえて、どうしたらいいかわからないとき、ひとりで悩まず、相談してみませんか？女性相談員と一緒に考え、あなた自身の力で問題解決へ向かうお手伝いをします。相談はどの場所でもかまいません。無料で秘密は守られます。

相談場所	相談日	相談時間(電話または面接)	電話番号
始良市役所	毎週水曜日	午前9時から午後4時まで (祝日は休み)	66-3111
加治木総合支所	毎週火曜日		62-2111、相談専用 62-2230
蒲生公民館	毎週木曜日		52-1771

【問合先】企画政策課 男女共同参画係 TEL66-3111 (内線241)

わかりやすい健康講座

Health lecture

心地よい睡眠 とれていますか？

睡眠による休養は、食事、運動に並ぶ健康づくりの重要な要素です。睡眠は、全身にさまざまな命令を出す大脳を休ませる大切な時間です。睡眠をしっかりとることで、体や脳の疲れを回復させて、翌日の活動に向けて体調を整えましょう。

心地よい睡眠のために

1 目が覚めたら太陽の光を浴びる

太陽の光を浴びることで体内時計の動きが調整されます。なるべく同じ時間に起床し、太陽の光を浴びて、1日の生活リズムを整え、質の良い睡眠につなげましょう。



2 適度な運動を心がける

適度な体の疲労は寝付きをよくします。眠ろうとして急に強い運動をすると、かえって寝付けられない場合もあるため、日常生活の中で体を動かすよう心がけ、定期的な運動習慣を心掛けましょう。

3 寝酒はやめる

お酒は一時的に眠気を誘いますが、眠りが浅くなり、質の良い睡眠が得られません。寝付きをよくしようと寝酒を繰り返すと、同じアルコールの量では眠気を感じにくくなり、飲酒量が増える悪循環を招きますので控えましょう。

4 自分に合ったリラックス法を取り入れる

寝る前に、軽い読書、音楽、ストレッチなど、自分に合った方法で心身ともにリラックスする時間を持ちましょう。また、入浴時には、ぬるめのお湯にゆっくり入ると寝付きがよくなります。

5 眠れない状態が続く場合は相談を

「なかなか寝つけない」、「早く目が覚めてしまう」、「夜ぐっすり眠れた感じがしない」等が続く場合、体や心の病気の症状として現れていることがあります。2週間以上続く不眠は、うつ病のサインと言われています。一人で悩まず、医療機関等に相談しましょう。また、お薬を服用する場合は、かかりつけの医師や薬剤師とよく相談して使用しましょう。

【問合先】健康増進課 健康増進係 TEL 66-3111 (内線142・143)
加治木市民生活課 健康増進係 TEL 62-2111 (内線500・501)
蒲生市民生活課 健康増進係 TEL 52-1211 (内線254・255)

お知らせ

市税等の納期のお知らせ

税務課

税目	期別	納期限
市県民税	4期	1月31日(火)
国民健康保険税 (普通徴収)	8期	
介護保険料 (普通徴収)	8期	
後期高齢者医療保険料 (普通徴収)	7期	

※納め忘れのないようにしましょう。

※口座振替のかたは、1月31日が振替日になります。残高のご確認をお願いします。

◎問合せ先管理係 Tel 66-3111 (内線159)

低線量CTによる肺がん検診費用の一部助成について

健康増進課

肺がんによる死亡は、本県のがんによる死因の第1位で、増える傾向にあります。県では、肺がんの早期発見に有効とされている、低線量CTに

よる肺がん検診を、より多くのかたが受診できるように、検診費用の一部を助成しています。

・対象者 県内在住の50歳以上のかた

※肺がん治療中や治療後のかた、精密検査目的のかたを除きます。

・検診費用 3150円(通常の検診費用の3割以下の額です)

・受診定員 8千人

・実施期間 3月末まで

・受診するには 県と契約した一次検診機関に予約・お問い合わせください。

・市内の一次検診機関(参考) 〃

検診機関名
青雲会病院 西餅田3011番地 TEL 66-3080
国立病院機構南九州病院 加治木町木田1882 TEL 62-2121
大井病院 加治木町本町141 TEL 63-2291

・受診時に持参するもの 住所と生年月日が確認できる書類(運転免許証など)

◎問合せ先 県保健福祉部健康増進課 がん対策・歯科保健係 Tel 099-28612721

税理士記念日「無料税務相談会」

税務課

相続・贈与・土地建物の売却、確定申告などに関する相談会です。予約は必要ありません。

・日時 2月19日(日) 午前10時～午後4時

・場所 国分シビックセンター 市民ギャラリー

◎問合せ先 南九州税理士会加治木支部 川崎 Tel 62-2984

始良市地域福祉計画(案)に対するパブリックコメントの募集

社会福祉課

始良市地域福祉計画(案)に対する市民の皆さんからのご意見を募集します。計画案は、市役所本庁(情報公開コーナー)、社会福祉課、各総合支所(加治木福祉課、蒲生福祉課)及び市のホームページで閲覧できます。

・閲覧及び意見募集期間 1月26日(木)～2月24日(金)

・提出方法 閲覧場所に備えてある書式にご記入いただき、社会福祉課または、各総合支所にご持参ください。郵送、FAXまたは電子

メールでの提出もできます。

◎提出及び問合せ先 福祉政策係 Tel 66-3111 (内線121) FAX 65-6964

加治木福祉課社会福祉係 Tel 62-2111 (内線137)

蒲生福祉課社会福祉係 Tel 52-1211 (内線272)

Eメール: fukushi@city.aitak.jp



表紙の写真 重富干潟

鹿児島湾の奥に位置する広大な干潟で、3月～5月の際干潮時は、広さが30ヘクタールに達します。鹿児島湾のように海底が急激に落ち込む地形では、干潟はできにくいいため、重富干潟や須崎干潟は、貴重な環境といえます。

また、重富海岸には、防潮林として植えられた樹齢の高い松があり、松林からは、重富干潟と錦江湾に浮かぶ桜島を望む素晴らしい景色が楽しめます。

市の人口 (1月1日現在)

◎人口 / 75,734人 (-4)

男 / 35,411人 (-14)

女 / 40,323人 (+10)

◎世帯 / 33,775世帯 (-10)

親子ぼうさい教室及び防災川柳コンクール

危機管理課

◆親子ぼうさい教室

・日時 1月29日(日) 午前10時30分～11時30分

・場所 県防災研修センター(平松)

・内容 「防災かるた大会」自然災害について、かるたを通して楽しく遊びながら、防災知識を学ぶ。「災害伝言ダイヤル171」体験会も行います。

※子どもだけの参加はできません。

◆防災川柳コンクール

・防災に関わる川柳を募集します。

・賞品 最優秀賞1句・図書カード1万円分

・優秀賞3句・図書カード5千円分

※発表は県防災研修センターのホームページ (<http://www.kagoshima.go.jp/>) で行います。

・応募方法 応募用紙を県防災研修センターへ郵送またはFAXしてください。

※応募用紙については、お問い合わせください。

・応募期限 1月31日(火)

心とからだのリラククス教室

健康増進課

心もからだも健康的な生活を送るために、ストレス解消の方法を学ぶ健康教室です。

・日時 2月3日～3月2日 (毎週金曜日、全5回) 午前9時30分～11時30分

・場所 加治木保健センター

◎内容 〃

1回目	講話「人と上手にコミュニケーションをとるために」
2回目	アロマを楽しんでみよう(オーデコロン)の材料費500円が必要です
3回目	カラーのもつ気持ちへの効果は?
4回目	体の緊張をほぐしてみよう
5回目	自宅で気軽にできるお茶の楽しみ方は?

・対象者 最近心が疲れきりのかた、自分にあつたスト

英語活動協力員(AEA)募集

学校教育課

・募集人員 若干名

・仕事内容 学級担任とのチーム・ティーチングを

福祉の職場就職面談会

社会福祉課

・日時 2月3日(金) 午後1時～4時 受付・午後0時30分

・場所 かしま県民交流センター

・対象者 福祉施設への就職希望者(高校生以下を除く)

・内容 就職面談会、求職登録、各種相談など

※参加料無料、予約不要

◎問合せ先 県社会福祉協議会福祉人材・研修センター Tel 099-25817888

健康料理教室生募集

健康増進課

・日時 2月8日(水) 午前9時30分

・場所 始良保健センター

・内容 高血圧予防食

・対象者 市内在住のかた

・参加料 300円(食材料費として)

・定員 20人程度(先着順)

・申込期限 1月27日(金)

・持参する物 エプロン、三角巾、米0.5合

◎申込及び問合せ先 食生活改善推進員協議会(始良地区) 古城 Tel 67-0612

レス解消法を見つけたかたで、次の条件を満たすかた

○国民健康保険に加入されているかた

○74歳までのかた

○原則5回全てに参加できるかた

※初めて参加されるかたを優先します。

・定員 20人(先着順)

・申込期間 1月23日(月)～27日(金)

◎申込及び問合せ先 健康増進係 Tel 66-3111 (内線142)

中心とした外国語活動等の指導への協力等

・応募資格 〃

① 小学校外国語活動に関心があり、英語の専門性を有する者

② 日本の小学校教員免許状、または中学校(高等学校)教員免許状(英語)等、またはそれに準ずるものを有する者等

・委嘱期間 4月2日～翌年3月23日

・謝金 1時間(45分+打合せ)につき2000円

・募集期間 2月6日(月)～3月2日(金)

・応募方法 自筆の履歴書(写真添付)、各種免許状及び資格取得証明書等の写しを持参または送付(履歴書及び各種証明書の写しは返却いたしません)。

・選考 第1次審査(書類選考)、第2次審査(小論文、面接)

◎申込及び問合せ先 教育指導係 Tel 62-2111 (内線222)



2月の 休日在宅医等

※在宅医の診療時間は、午前9時から午後5時までです（眼科は、午前9時から午後1時まで）。
※都合により在宅医が変更になる場合がありますので、医療機関にご連絡の上、受診してください。
※在宅医の変更等については、始良市役所へお問い合わせください。
◎問合先 始良市役所 TEL 66-3111

月日	曜日	市町名	医療機関・薬局名	診療科目	電話
2月 5日	日	霧島市(国分)	鶴木医院	内科小児科	45-0011
		霧島市(隼人)	隼人脳神経外科	脳神経外科	73-5353
		霧島市(溝辺)	杏岐医院	内科小児科	59-2019
		始良市(始良)	錦江クリニック	内外循環器科	67-7755
		霧島市(横川)	林内科	内科小児科	72-1818
		始良市(加治木)	西眼科医院	眼科	62-2526
		始良市(始良)	思川薬局	—	67-7123
		始良市(加治木)	かじき薬局	—	62-3492
11日	土	霧島市(隼人)	霧島記念病院	外科	47-3100
		霧島市(隼人)	山下内科クリニック	内科	43-0460
		霧島市(溝辺)	徳永医院	内皮膚小児科	58-2302
		始良市(始良)	いわつぼ耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科	66-3387
		霧島市(牧園)	霧島桜ヶ丘病院	内科神経精神科	78-3135
		霧島市(隼人)	椎原眼科医院	眼科	43-1050
		霧島市(国分)	こうの子どもクリニック	小児科	47-1211
		始良市(始良)	ケーアイ調剤薬局始良店	—	66-3952
12日	日	霧島市(国分)	梶原内科	内科小児科	47-3363
		霧島市(隼人)	さくら皮膚科	皮膚科	42-0219
		始良市(加治木)	松下亮治内科	内科循環器科	62-0084
		始良市(始良)	河俣内科	内呼吸器科	67-8005
		湧水町	ひらしまクリニック	胃腸科外科内科	74-2800
		始良市(始良)	青雲会病院眼科	眼科	66-3080
		霧島市(隼人)	かわの小児科	小児科	42-8866
		始良市(加治木)	ふれんど薬局	—	63-6161
19日	日	霧島市(国分)	井科クリニック	脳神経外科	46-9300
		霧島市(隼人)	島田泌尿器科医院	泌尿器科	42-7733
		始良市(加治木)	徳重クリニック	内科耳鼻咽喉科	62-2672
		始良市(始良)	でくち耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科	67-3342
		霧島市(牧園)	霧島温泉クリニック	内科	78-2338
		始良市(始良)	たかひろ眼科	眼科	55-6000
		始良市(加治木)	すこやかクリニック	小児科	62-0308
		始良市(加治木)	のぞみ薬局	—	62-0234
		始良市(始良)	ゆうき薬局	—	55-5315
		始良市(始良)	中ノ丸薬局	—	67-7050
26日	日	霧島市(国分)	協愛病院	内科消化器科	45-6211
		霧島市(隼人)	はやと整形外科	整形外科	43-6111
		始良市(加治木)	さんのう内科	内科循環器科	63-3000
		始良市(始良)	ながた脳神経外科	脳神経外科	67-7500
		湧水町	田代医院	内科循環器科	74-2075
		霧島市(国分)	高倉眼科	眼科	47-7300
		霧島市(国分)	ふたばクリニック小児科皮膚科	小児科	57-5555
		始良市(始良)	中ノ丸薬局	—	67-7050

歯科救急診療(日曜、祝日) / 始良郡歯科医師会館口腔保健センター(霧島市溝辺町・空港近く)
TEL 58-4388 午前9時~午後3時

こどもの救急電話相談(夜間) 相談時間/毎日・夜間 午後7時~11時
夜間におけるお子さんの急な発熱、おう吐、下痢、腹痛などでわからないことがある場合は、
経験豊富な看護師が応急処置や医療機関の受診の必要性などのアドバイスをいたします。
TEL #8000 (県内統一)
※ただし、回線電話、光電話及びIP電話からは【099-254-1185】



第10回 始良10号美術展

応募者 261人、応募点数 375点の中から、
次のかたが受賞されました。(敬称略)



大賞 「白銀坂」
南郷克幸 (始良市)

※その他 特別賞4人、特選21人が
受賞されました。



10回記念賞
「卓上のボトル」
園田史興
(始良市)



生涯学習賞
「斜陽」
大園慶子
(薩摩川内市)



優秀賞
「アート・光の森の住人」
三田公子
(曾於市)



優秀賞
「雨のあと」
遠矢ノブ
(鹿児島市)

展
示

・日時/1月13日(金)~29日(日) 午前9時~午後5時
・場所/加音ホール ホワイエ ・入場料/無料
・内容/県内及び近隣県在住の一般成人(高校生以上)による公募展

◎問合先
社会教育課内実行委員会事務局
TEL 62-2111 (内線244)

県ドクターヘリの運航が開始されました

ドクターヘリは、医療機器や医薬品を搭載した救急医療専用のヘリコプターで、専門の医師等が搭乗して救急現場などに急行することができます。救急隊等と連携し、傷病者の治療を早期に開始するとともに、いち早く医療機関へ搬送することができるため、救命率向上や後遺症の軽減につながる事が期待されています。

・離着陸場所/市内46カ所。消防本部ホームページ (<http://www.aira-fd.jp/>) で確認できます。

※ドクターヘリが離着陸する際には、消防職員等の指示に従ってください。

また、砂ほこりや騒音が発生し、ご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いします。

◎問合先=消防本部警防課救急救助係 TEL 63-3287 (内線29)

